

細見美術館

SHUNGA

春画展



会期 / 2016年2月6日(土)

~ 4月10日(日)

午前10時~午後6時 ※18歳未満入場禁止

会場 / 細見美術館 京都府京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

細見美術館

待望の名品が勢揃い

春画展

世界が、先に驚いた。

2016年2月6日(土) ～4月10日(日)

[前期] 2月6日(土)～3月6日(日)

[後期] 3月8日(火)～4月10日(日)

開館時間：午前10時～午後6時

※3月18日以降の金・土曜日は午後8時まで開館

※入館は閉館の60分前まで

休館日：月曜日(3月21日は開館)

入館料：1,500円(前売り：1,300円)

※18歳未満は入館禁止(会場にて年齢の分かるものをご提示いただく場合があります)

※団体・学生・シルバー・障害者の割引はありません。

※チケット販売：細見美術館、京都新聞文化センター、イープラス、セブンチケット、チケットぴあ、ローソンチケット

※前売り券の販売は2月5日まで(細見美術館は1月24日まで)

主催：細見美術館、春画展日本開催実行委員会

共催：京都新聞

特別後援：国際浮世絵学会、国際日本文化研究センター

美術史学会、立命館大学アート・リサーチセンター

後援：朝日新聞社、産経新聞社、毎日新聞社、MBS

協力：佐川印刷、凸版印刷、日本通運

[講演会] 会場：京都市勧業館みやこめっせ

① 3月12日(土) 13時30分～(予定)

講師：早川潤多氏(国際日本文化研究センター名誉教授)

講師：鈴木堅弘氏(京都精華大学人文学部特別研究員)

② 3月27日(日) 13時30分～(予定)

講師：狩野博幸氏(同志社大学文化情報学部教授)

講師：石上阿希氏(国際日本文化研究センター特任教授)

展示替え情報・講演会の申込み方法などについての詳細は下記、細見美術館HPでご確認ください。

<http://www.emuseum.or.jp>

関連イベント：「女性のための春画サロン」

会場：京都市岡崎いきいき市民活動センター

日時：2月10日(水)18:30～20:00 2月20日(土)16:30～18:00

講師：石上阿希氏(国際日本文化研究センター特任教授)

詳細：京都市岡崎いきいき市民活動センター

<http://www.kyoto-okazaki.jp> TEL 075-761-4484

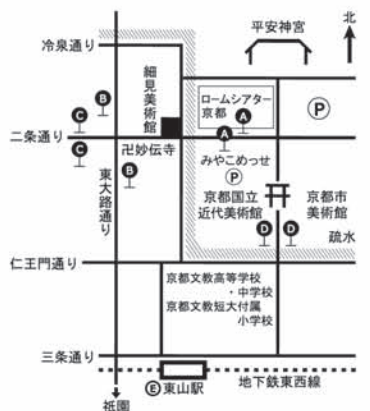


春画は江戸時代には笑い絵とも呼ばれ、性的な事柄と笑いが同居した芸術性の高い肉筆画や浮世絵版画の総称です。特に欧米では、19世紀末ジャポニスム時代以降、高い評価を得てきました。近年では、2013年から2014年にかけて大英博物館で開催された「春画 日本美術の性とたのしみ」展が大きな話題を呼びました。このたび、東京の永青文庫で昨年、開催された日本初の「春画展」が京都に巡回するはこびとなりました。デンマークのコレクターをはじめ、日本の美術館・研究所や個人が秘蔵する鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、葛飾北斎といった浮世絵の大家による「春画の名品」が勢揃いします。さらに、京都の西川祐信や大坂の月岡雪鼎の作品を通して、上方ならではの春画の魅力に迫り、狩野派や土佐派・住吉派と春画との関係もさぐります。大名から庶民にまで広く愛された肉筆と版画の作品が一堂に揃うまたとないこの機会に、ぜひ「春画の魅力」をご堪能ください。



表：喜多川歌麿「ねがひの糸口」(部分)/大判錦絵/寛政11年(1799)国際日本文化研究センター「前期展示」裏A：鳥文斎栄之「源氏物語春画卷」(部分)/絹本着色/江戸時代(18-19世紀)/林原美術館「後期展示」B：喜多川歌麿「歌まくら」(部分)/大判錦絵/天明8年(1788)/浦上満氏蔵「前期展示」C：西川祐信「春宵秘戯図巻」(部分)/絹本着色/享保年間(1716-36)中期「場面替あり」D：「狐忠信と初音図(春画屏風)」(部分)/紙本着色/江戸時代(19世紀)/個人蔵「後期展示」

●A市バス・京都岡崎ループ「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車 徒歩2分 ●B市バス「東山二条・岡崎公園口」下車 徒歩3分 ●C市バス「東山二条・岡崎公園口」下車 徒歩3分 ●D市バス・京都岡崎ループ「岡崎公園美術館・平安神宮前」下車 徒歩5分 ●E市営地下鉄東西線「東山」下車 徒歩10分 ※当館に駐車場・駐輪場はありません。ご来館には公共交通機関をご利用ください。



細見美術館

京都府京都市左京区岡崎最勝寺町6-3

TEL 075-752-5555

<http://www.emuseum.or.jp>